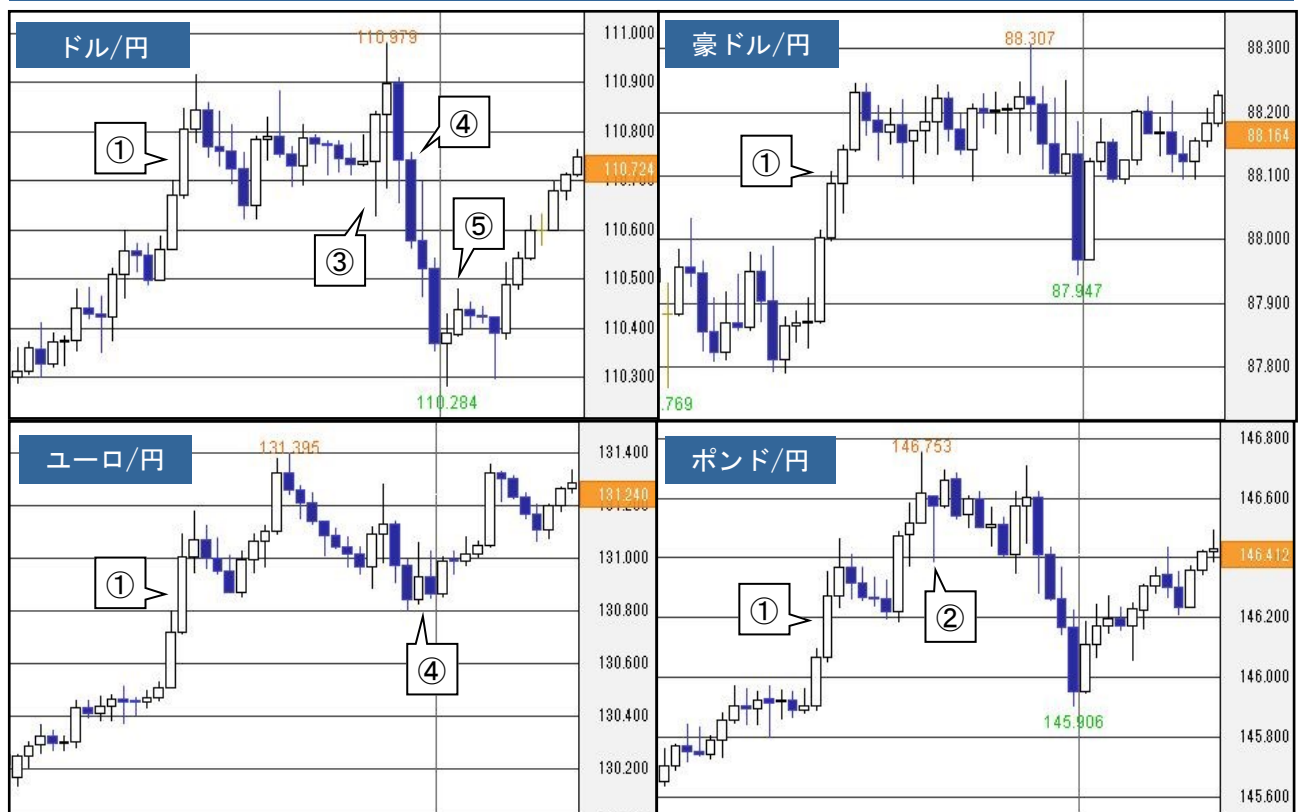


8月3日(木曜日)  
ドル/円・豪ドル/円  
ユーロ/円・ポンド/円

## ドル/円、目先は戻りを探る展開か

### 2日(水)の為替相場



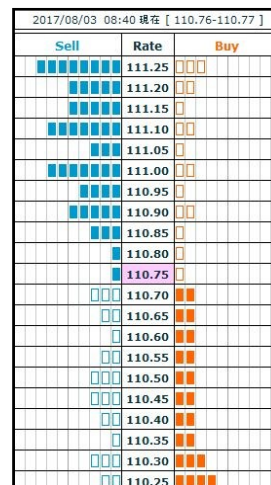
期間：2日(水)午前6時10分～3日(木)午前5時55分 ※チャートは30分足(日本時間表示) 出所：外為どっとコム

- ① 日経平均株価が後場に続伸する形で一時20100円台を回復。これを眺めて円売りが強まるとドル/円やクロス円は上昇した。
- ② 英7月建設業PMIは51.9となり、前月の54.8から低下。市場予想(54.0)も下回った。
- ③ 米7月ADP全国雇用者数が17.8万人増と、市場予想(19.0万人増)を下回ると一時ドルが売られたが、前月分が15.8万人増から19.1万人増に上方修正された事もあって、すぐに買戻しが入った。
- ④ 米財務省が発表した四半期定例入札(クォーターリー・リファンディング)の詳細で、超長期債の発行を見送った事から米長期金利が一時急低下。ブロード米セントルイス連銀総裁が「近い時期の追加行動を支持せず」「軟調なインフレデータを懸念」などと述べて追加利上げに否定的な見解を示した事もあって、ドル売りが活発化した。一方、対ユーロでもドル売りが強まり、ユーロ/ドルがおよそ2年半ぶりに1.19ドル台に上昇したが、ユーロ/円はドル/円の急落とユーロ/ドルの急騰に挟まれて方向感が出なかった。
- ⑤ メスター米クリーブランド連銀総裁が「直近のインフレ鈍化は一部特殊要因」「インフレ鈍化に市場は過剰反応すべきではない」などと発言した事や、NYダウ平均が6営業日連続で史上最高値を更新した事などから、④を受けて2.24%前後まで低下していた米10年債利回りが再び上昇すると、ドル/円も持ち直した。なお、NYダウ平均は史上初めて終値で22000ドル台を記録した。

2日(水)の株・債券・商品市場

外為注文情報(ドル/円)

日経平均	豪ASX	上海総合	英FT	独DAX
20080.04 (△94.25)	5744.203 (▼28.169)	3285.057 (▼7.581)	7411.43 (▼12.23)	12181.48 (▼69.81)
NYダウ	日10年債	豪10年債	英10年債	独10年債
22016.24 (△52.32)	0.0780% (±0.0000)	2.704% (▼0.010%)	1.236% (△0.023)	0.486% (▼0.005)
米2年債	米10年債	NY原油	NY金	
1.3590% (△0.0179)	2.2710% (△0.0178)	49.59 (△0.43)	1278.40 (▼1.00)	



本日の見通し

予想レンジ	ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円	ポンド/円
	110.200-111.400	130.000-132.200	87.400-88.500	145.800-147.400

【ドル/円】

昨日のドル/円は、111円目前まで上昇して日足の一目均衡表の転換線に迫った。その後はやや伸び悩んだが、一昨日に下げがやや長い足形をつけて52週移動平均線付近で下げ渋っており、昨日の動きと合わせて目先のには戻りを探る余地があると見る。本日は、前述の転換線(執筆時111.056円)を超えられるかが焦点だ。仮に突破すると、一目均衡表の雲(本日は111.356~111.373円)に向けた一段高もあるだろう。なお、本日は米国で新規失業保険申請件数や7月ISM非製造業景況指数などが予定されている。

執筆者: 川畑

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示

日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
8/3(木)	10:30	○	(豪) 6月貿易収支	+24.71億AUD	+18.00億AUD
	17:30		(英) 7月サービス業PMI	53.4	53.6
	18:00		(ユーロ圏) 6月小売売上高(前月比)	+0.4%	±0.0%
	20:00	◎	(英) BOE政策金利発表	0.25%	0.25%
	20:00	◎	(英) BOE議事録	—	—
	20:00	◎	(英) BOE四半期インフレレポート	—	—
	20:30	◎	(英) カーニー-BOE総裁、会見	—	—
	20:30		(米) 7月チャレンジャー人員削減予定数(前年比)	-19.3%	—
	21:30	○	(米) 新規失業保険申請件数	24.4万件	24.3万件
	23:00	◎	(米) 7月ISM非製造業景況指数	57.4	56.9
	23:00		(米) 6月製造業受注指数(前月比)	-0.8%	+3.0%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承いたします。